

土木学会鋼構造委員会 小委員会活動報告

小委員会名	アルミニウム合金材の鋼橋への適用検討小委員会	委員長	大倉一郎	連絡幹事	穴見健吾
活動予定期間	平成 24 年 4 月 ~ 平成 26 年 3 月 (2 年間)				
活動の目的	<p>アルミニウム構造小委員会 (2009 年 3 月~2012 年 2 月, 委員長 倉西茂) の検討の結果, アルミニウム合金材を鋼橋に活かす上で, 次の研究テーマが有望であることが明らかとなった. これらの研究テーマをさらに発展させ, アルミニウム合金材を鋼橋に適用することについて検討する.</p> <p>(1) アルミニウム合金部材の耐荷力の究明 (2) アルミニウム合金製制震ダンパーの実用化 (3) アルミニウム床版による鋼橋の耐震性の向上 (4) アルミニウム合金材を用いた鋼部材防食技術の開発 (5) アルミニウム合金材を用いた鋼部材補修・補強技術の開発</p>				
前回鋼構造委員会報告後の活動状況	<p>第 1 回小委員会を平成 24 年 5 月 15 日に開催される「アルミニウム合金材の土木構造物への活用に関するシンポジウム」の開催後に行う.</p> <p>その後, 2, 3 ヶ月に 1 回のペースで小委員会を開催する予定である.</p>				
今後の活動計画	<p>平成 24 年度 検討項目 (1)~(5) に対して, 引続き検討を行うとともに, その成果を小委員会で報告し, 成果として取りまとめる.</p>				
目標成果	<p>アルミニウム合金材を鋼橋へ生かすことを目的に, アルミニウム合金材を用いた構造物の耐荷性能の把握, アルミニウム合金材の耐震・制震への適用, アルミニウム合金材の補修技術への適用に対して調査・研究を行う.</p>				
PR ポイント	<p>最近, アルミニウム歩道橋や拡幅歩行者用アルミニウム床版が建設されるようになってきた. さらに, 道路橋用アルミニウム床版やアルミニウム合金製制震ダンパーに関する研究, アルミニウム合金材の鋼構造物の補修・補強技術への適用に関する研究が活発に行なわれている. それらの最新の成果をまとめ, アルミニウム合金材を鋼橋へ適用する際の有用な情報を与えられるように活動を行う.</p>				
その他					

アルミニウム合金材の鋼橋への適用検討小委員会名簿

	氏名	連絡先
委員長	大倉一郎	大阪大学大学院地球総合工学専攻
顧問	倉西 茂	東北大学名誉教授
幹事長	石川敏之	京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻
幹事	長尾隆史	日本軽金属株式会社 グループ技術センター 解析設計グループ
連絡幹事	穴見健吾	芝浦工業大学 工学部 土木工学科
委員	有住康則	琉球大学工学部環境建設工学科
	宇佐美勉	名城大学理工学部建設システム工学科
	大島 勤	(株)住軽日軽エンジニアリング 設計技術部
	貝沼重信	九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門
	金澤宏明	(株)横河ブリッジ 設計センター設計第2部設計課
	北山暢彦	(株)IHIインフラシステム 技術本部 都市高速部 設計課
	小沼恵太郎	パシフィックコンサルタンツ株式会社 交通基盤事業本部 構造部複合技術室
	富江 洋	いであ株式会社 大阪支社 陸圏(りくけん)グループ
	野中哲也	(株)耐震解析研究所
	萩澤亘保	日本軽金属株式会社 グループ技術センター 企画室
	光川直宏	(株)建設技術研究所 大阪本社 道路・交通部
	山尾敏孝	熊本大学大学院自然科学研究科